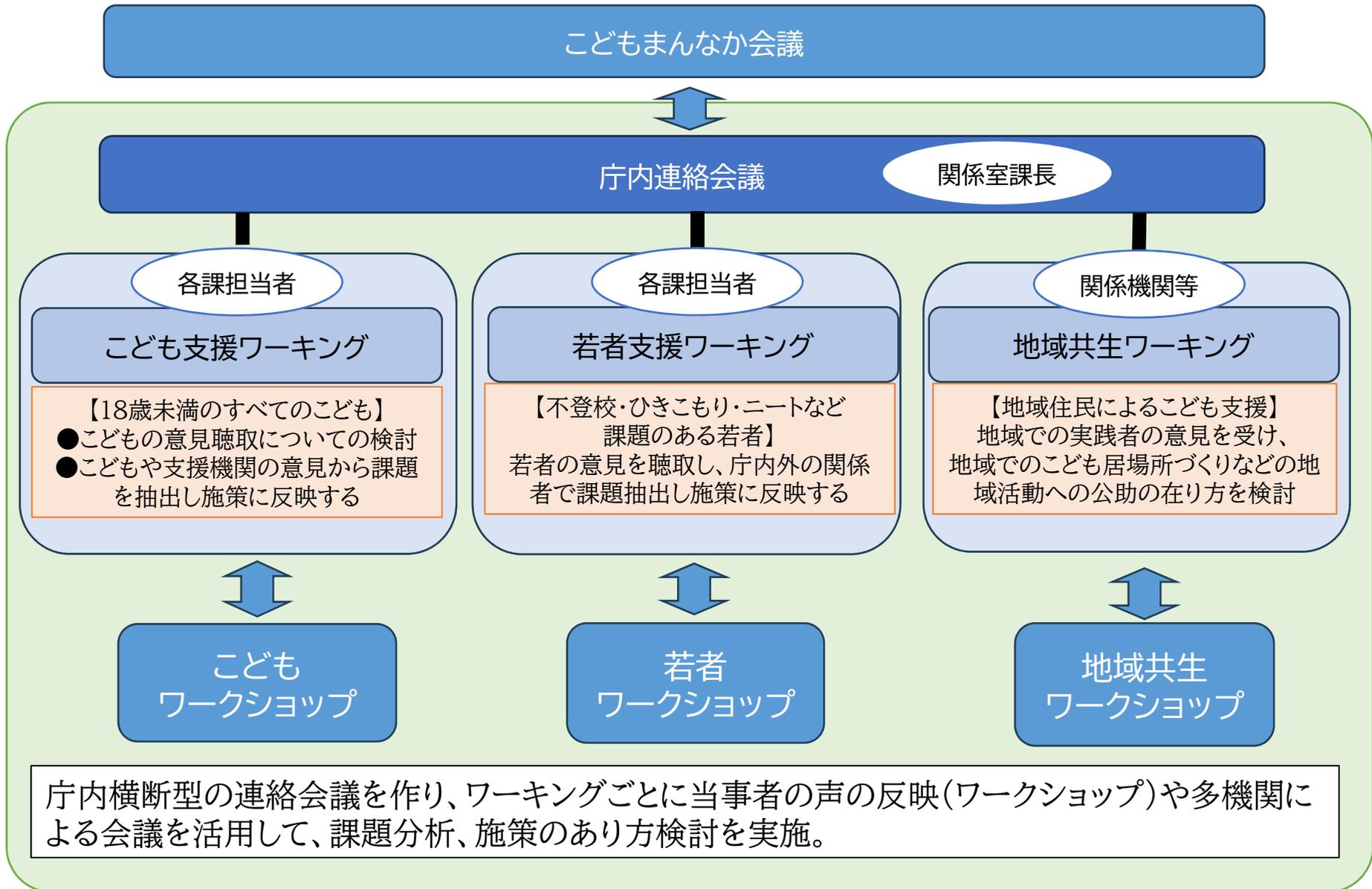


ワーキング、ワークショップ等について

資料6



1. こども支援ワーキングについて

(1)こども支援ワーキング会議

経過	実施日	参加者	議題等
	R6.5.8	庁内関係課の担当者	こどもの意見聴取の進め方

(2)ー① こどもワークショップ(こども)

時期	R6年7月から順次実施予定
参加者	①幼児 : 保育園の年長児 ②小学生 : 調整中 ③中学生 : 生徒会サミット ④高校生等 : 公募
実施方法等	①～④各対象ごとに座談会形式で実施
テーマ	①幼児、②小学生、③中学生 ・こども自身が考える居場所づくり、自分の未来を築くための多様な経験など ④高校生等 ・こども計画(素案)についての意見
取組みの方向性	・幅広い年代のこどもから直接意見を聴取する。 ・幼児・小学生・中学生：計画素案への反映を視野に、7～8月に実施する。 ・高校生等：計画素案についての意見を聴取するため、11月に実施する。 ・計画反映についてのフィードバックをする。

(2)ー② こどもワークショップ(支援者)

時期	R6年6月予定
参加者	①就学前のこどもについて 児童発達支援センター、和泉保健所、保育園、子育て支援センター、保健センター、ふたば幼児教室、こども未来室、子育て支援室 ②就学後のこどもについて 母子医療センター、CSW(コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)、小中学校、学校教育室、SSW(スクール・ソーシャル・ワーカー)、子育て支援室
実施方法等	①②各対象ごとの支援関係機関の会議で検討
テーマ	困難を抱えたこどもの現状把握と課題整理
取組みの方向性	・意見が言いにくい、困難を抱えたこどもの課題整理や支援の検討をする。 ・多くの課題は複合していること、就学前後で関わる機関が異なることから、就学前・就学後の枠組みで支援者による検討をする。 ・6～8月：困難を抱えたこどもの課題抽出と共有・整理を行い、ニーズキャッチやアウトリーチ手法を検討する。 ・10～2月：支援者の協働のあり方についての検討、計画反映についてのフィードバックをする。

詳細については別紙参照

こども支援ワーキングについて

1. 目的

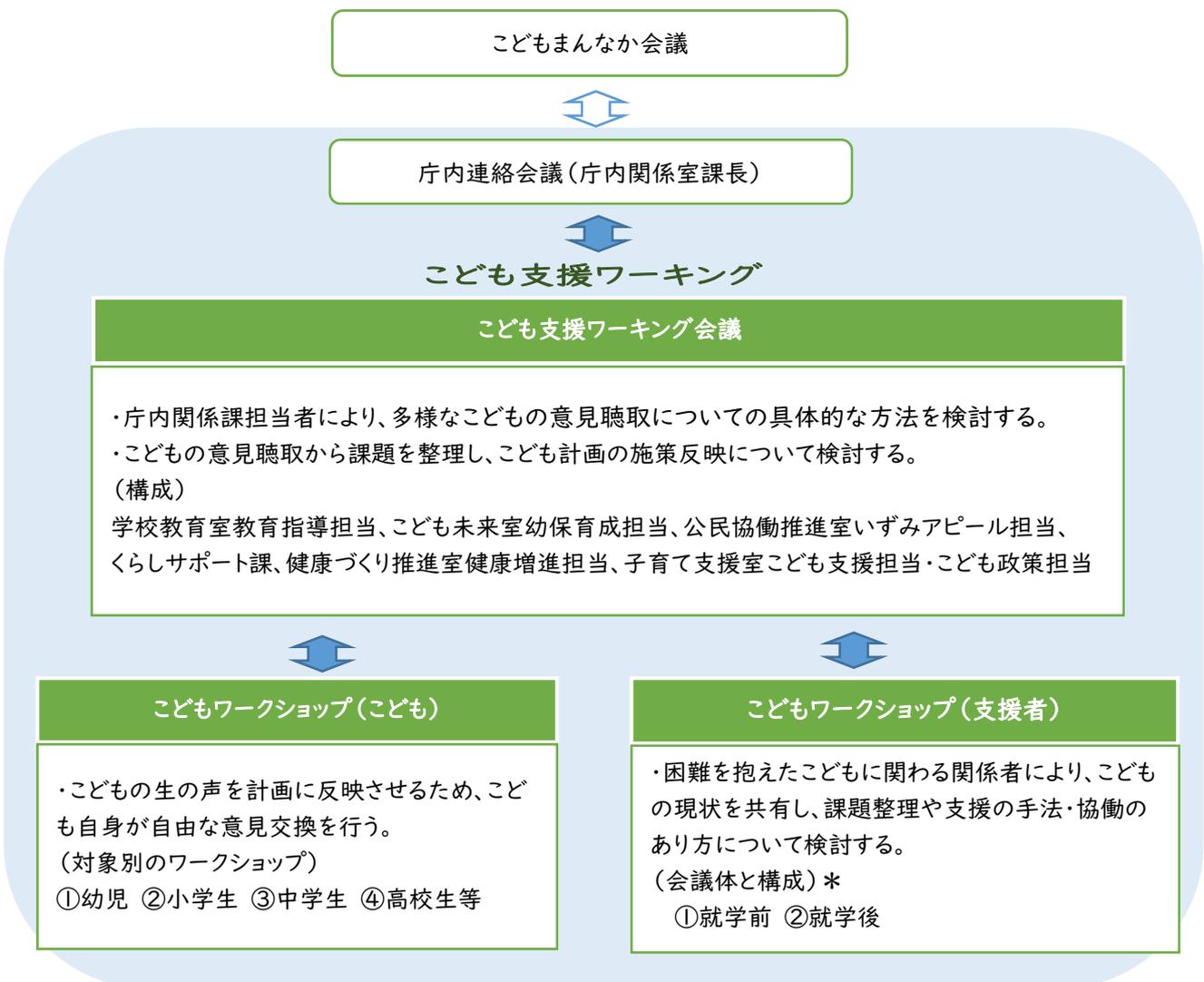
(1) こどもの意見聴取と施策への反映

・こどもの最善の利益を第一に考えた「こども計画」の策定にあたり、各種施策の立案・評価について、それぞれの施策の目的等を踏まえ、こどもの意見を聴いたうえで課題整理し、施策に反映させる。

(2) こどもの意見聴取の仕組みの検討と職員の意識醸成

・こどもを支援の対象として捉えるだけでなく、ともに和泉市をつくる市民として意見聴取する仕組みを検討するとともに、こどもの意見聴取の必要性について関係職員の意識醸成を図る。

2. 会議の体制



*こどもワークショップ(支援者)の構成

- ①就学前: 児童発達支援センター、和泉保健所、保育園、保健センター、子育て支援センター、ふたば幼児教室、こども未来室、子育て支援室
- ②就学後: 母子医療センター、小中学校、コミュニティ・ソーシャル・ワーカー、学校教育室 スクール・ソーシャル・ワーカー、子育て支援室

3. こどもの課題

・こどもの貧困、不登校、こどもの虐待、養育困難家庭、ヤングケアラー、こどもの居場所づくり等

4. スケジュール

- 5月8日 **第1回こども支援ワーキング会議**
- ・こどもの意見聴取および施策反映の必要性
 - ・こどもワークショップの進め方(対象、開催時期、内容等)
- 6月 **第2回こども支援ワーキング会議**
- ・こどもワークショップ(こども)(支援者)の実施計画
- 6月～8月 こどもワークショップ(支援者)の実施
- ・困難を抱えたこどもの課題の抽出と共有・整理
 - ・ニーズキャッチやアウトリーチ手法の検討
- 7月～8月 こどもワークショップ(こども)の開催
- ① 幼児…保育園年長児クラス
 - ② 小学生…調整中
 - ③ 中学生…生徒会サミット(2年生・3年生)
- ・各グループが所定のテーマ(居場所、多様な体験等)について意見交換する
- 9月 **第3回こども支援ワーキング会議**
- ・こどもワークショップ(こども)(支援者)の実施結果の共有
 - ・課題整理・方針検討→計画(施策・成果指標)への反映について
- 10月～2月 こどもワークショップ(支援者)の実施
- ・支援者の協働のあり方についての検討
 - ・フィードバック
- 11月 こどもワークショップ(こども)の開催
- ④ 高校生等…公募
- ・こども計画(素案)について意見交換する(重点項目ごとのテーマでのグループ等)
- 12月 こどもワークショップ(こども)のフィードバック
- ・計画素案にどのように反映したか、反映できなかったか
- 2月 **第4回こども支援ワーキング会議**
- ・計画案の共有、今後の進め方

2. 若者支援ワーキングについて

(1)若者支援ワーキング会議

経過	実施日	参加者	議題等
	5月9日	庁内関係課及び関係機関18人	若者ワーキング、若者ワークショップの進め方について等

(2)ー① 若者ワークショップ(若者)

時期	R6年7月から順次実施予定
参加者	①募集型 ②ひきこもり当事者・経験者
実施方法等	①、②の対象ごとにワークショップ・ヒアリング等形式や聞き取る内容を変えながら実施
テーマ	・若者自身が考える、必要なツール、将来像等 ・当事者目線からの生きにくさ、必要なツール等
取組みの方向性	①ワークショップ形式 HPや関係機関から募集した若者から直接意見を聴取する。8月開催予定。 ②ヒアリング・アンケート・(ワークショップ)形式 当事者へ直接(もしくは間接的に)聞き取るにより、課題を共有する。7月開始予定。

(2)ー② 若者ワークショップ(支援者)

時期	R6年8月予定
参加者(案)	①中学校教諭 ②高校教諭 ③SSW(スクールソーシャルワーカー)・SC(スクールカウンセラー) ④居場所づくり運営者 ⑤CSW(コミュニティソーシャルワーカー) ⑥若者サポートステーション コーディネーター
実施方法等	ワークショップ形式
テーマ	困難を抱えた若者の現状把握(若者の代弁者として)
取組みの方向性	より多くの若者の意見を聴取するため、日常的に困難を抱える若者の支援に携わる支援者に集まってもらい、若者の状況や、若者が必要としている支援について話し合う。

○その他 (第2回若者ワーキング 多機関連携)

時期	9月ごろ開催予定
参加者	若者ワーキング参加部署・関係機関
内容	若者ワークショップ結果共有、課題整理、支援方法、計画への反映について方針検討

詳細については別紙参照

若者支援ワーキングについて

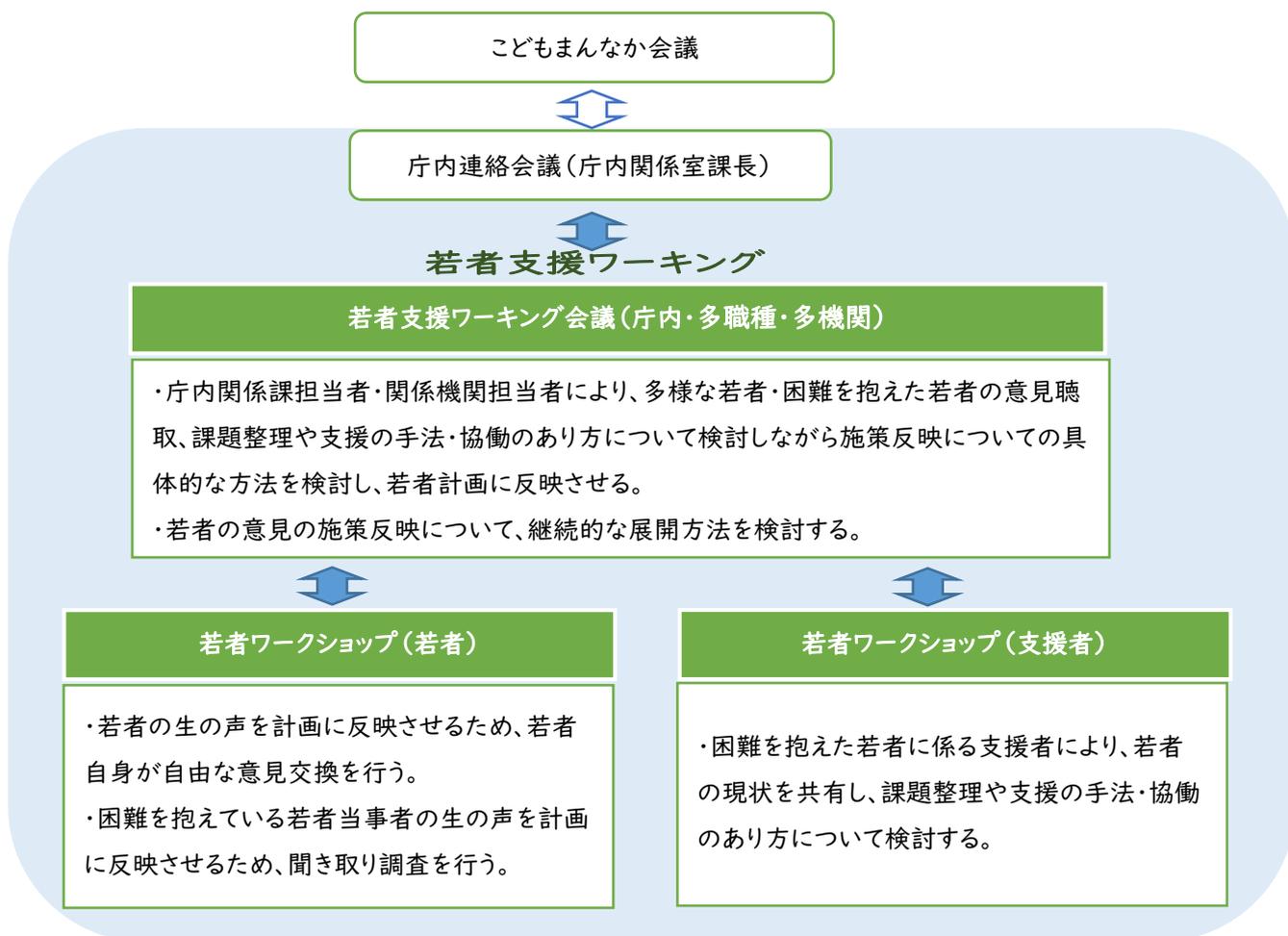
1. 目的

- ・「こどもまんなか計画」の策定にあたり、若者計画を盛り込むため、若者のための若者によるワーキングを実施することで、若者の現状把握と課題整理等を行い、各種施策の立案・評価について、それぞれの施策の目的等を踏まえ、若者の意見を聴き反映させる具体的な方法を検討する。
- ・若者支援施策に関わる関係各課（室）等及び関係機関の意識醸成を図り、各種施策・事業へ継続的に展開する。

2. 目標

- ・困難を抱える若者を支援の対象として捉えるだけでなく、ともに和泉市をつくる市民として、若者施策にとどまらず、若者の意見を政策に反映できる取り組みとする。

3. 会議の体制



4. 大切にすること

- ・若者の意見を尊重し、多様な方法で計画に反映する。
- ・積極的に意見が言いにくい、困難を抱えた若者の意見聴取に努め、現状を十分に把握する。
- ・関係者や関係部局は、若者の現状や課題を共有し、若者を中心として何ができるかを検討する。
- ・計画の実効性を高めるため、可能な限り既存の会議体・組織や集団・グループを活用し継続する。

5. 若者支援ワーキング会議

- ・庁内関係課担当者・関係機関担当者により、多様な若者・困難を抱えた若者の意見聴取、課題整理や支援の手法・協働のあり方について検討しながら施策反映についての具体的な方法を検討し、若者計画に反映させる。
- ・若者の意見の施策反映について、継続的な展開方法を検討する。

(1) メンバー

庁内関係課担当者

- ・福祉総務課
- ・生活福祉課
- ・健康づくり推進室 健康増進担当
- ・子育て支援室 こども政策担当
- ・障がい福祉課
- ・学校教育室
- ・生涯学習推進室生涯学習担当

多職種・他機関協働

- ・和泉保健所
- ・若者サポートステーション(泉州・堺)
- ・社会福祉協議会(地域福祉)

(2) 若者の課題

- ・ひきこもり
- ・ニート
- ・若者の居場所づくり(相談窓口)

(3) 検討課題

- ・困難を抱えた若者の現状把握と課題整理
- ・ニーズキャッチやアウトリーチ手法の検討
- ・多職種・多機関協働のあり方についての検討

(4) スケジュール

4月 課内で進め方の共有・決定
関係課(者)への声かけ

5月 第1回若者支援ワーキング会議

- ・会議の概要説明(目的、内容、スケジュール、若者ワークショップ……)
- ・日常業務の中で感じている課題の抽出と共有(事前アンケート)
- ・若者の意見聴取および施策反映の必要性の理解
- ・若者ワークショップで何を聞くか?(対象、内容等)

9月 第2回若者支援ワーキング会議

- ・若者ワークショップの実施結果の共有

・課題整理・方針検討→計画(施策・成果指標)への反映について

2月 第3回若者支援ワーキング会議(第2回若者支援ワーキング会議にて開催について決定)

・計画案の共有、今後の進め方

6. 若者ワークショップ等

- ・若者の生の声を計画に反映させるため、若者自身が自由な意見交換を行う。
- ・困難を抱えている若者当事者の生の声を計画に反映させるため、聞き取り調査を行う。

(1) 大切にすること

- ・若者の意見を尊重し、多様な方法で計画に反映することにより、一人ひとりが市民の一人としての実感を得て、主体性を高める。
- ・若者の生の声を計画に反映させる。

(2) テーマ

- ・若者自身が考える、必要なツール、将来像等
- ・当事者目線からの生きにくさ、必要なツール等

(3) 対象者と手法

若者本人

- ①募集型：HP・各関係部署から募集
- ②ひきこもり経験者：現在関りのある経験者→(手法)ワークショップまたは聞き取り・アンケート
- ③関係各課・関係機関の関わる当事者→(手法)聞き取り・アンケート

支援者等

- ①中学校教諭：教育委員会と相談
- ②高校教諭：市内3校と相談
- ③CSW
- ④SSW・SC：教育委員会と相談
- ⑤居場所づくり運営者

(4) スケジュール

4月 課内で進め方の共有・決定
関係課(者)への声かけ

5月 第1回若者支援ワーキング会議

6月・7月 募集型の参加者募集・HP、関係各課から募集、若者ワークショップ(聞き取り等開始)

8月 若者ワークショップ開催

11月 若者ワークショップのフィードバック

3.地域共生ワーキングについて

(1)地域共生ワーキング会議

経過	実施日	参加者	議題等
	R6.3.18	社会福祉協議会・福祉総務課 子育て支援室	こども計画及び地域共生ワーキングの趣旨について共有
	R6.5.1	社会福祉協議会・福祉総務課 子育て支援室	R6年5月10日 校区社協代表者会議に向けての打ち合わせ

(2)ー① 地域共生ワークショップ(協議の場)

時期	R6年6～8月の期間において、4圏域でそれぞれ2回ずつ
参加者	従前からの「協議の場」の参加者に加えて、小学校やこども食堂などこどもに関わる地域の関係者
実施方法等	4圏域からそれぞれ1小学校区を選定し、校区の「協議の場」においてワークショップを実施
テーマ	こどもにかかる課題(居場所、地域とのつながり等)を抽出し、課題解決に向けた取り組みについて検討
取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・R6.5.10 校区社協代表者会議において、地域共生ワークショップの希望を募り、遅くとも5月末までに4圏域からそれぞれ1小学校区を選定する。 ・順次、社会福祉協議会や子育て支援室から想定される参加者に趣旨を説明、理解を得るとともに、地域共生ワークショップを実施する日程について調整を行う。 ・R6.6月上旬:地域共生ワーキングを実施し、地域共生ワークショップの具体的な方法を検討する。 ・R6.6～8月:選定された小学校区で地域共生ワークショップを2回実施する。1回目は課題抽出、2回目は課題解決に向けた取り組みについて検討する。 ・R6.10～11月:地域共生ワークショップのフィードバックを実施する。

(2)ー② 地域共生ワークショップ(関係者)

時期	R6年6～7月予定
参加者	①こども食堂の関係者 ②こども・若者の居場所づくりや、地域活動を行っている関係者
実施方法等	①こどもの居場所交流会、②こども・若者の居場所 運営者交流会にて検討
テーマ	こどもの居場所や地域とのつながり等、現状把握と課題整理
取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・R6.6～7月:こどもの居場所や地域とのつながり等、こどもの課題整理を行い、ニーズキャッチやアウトリーチ手法を検討する ・R6.10～12月:地域活動への公助のあり方を検討し、計画反映についてのフィードバックを行うに地域共生ワークショップのフィードバックを実施する。

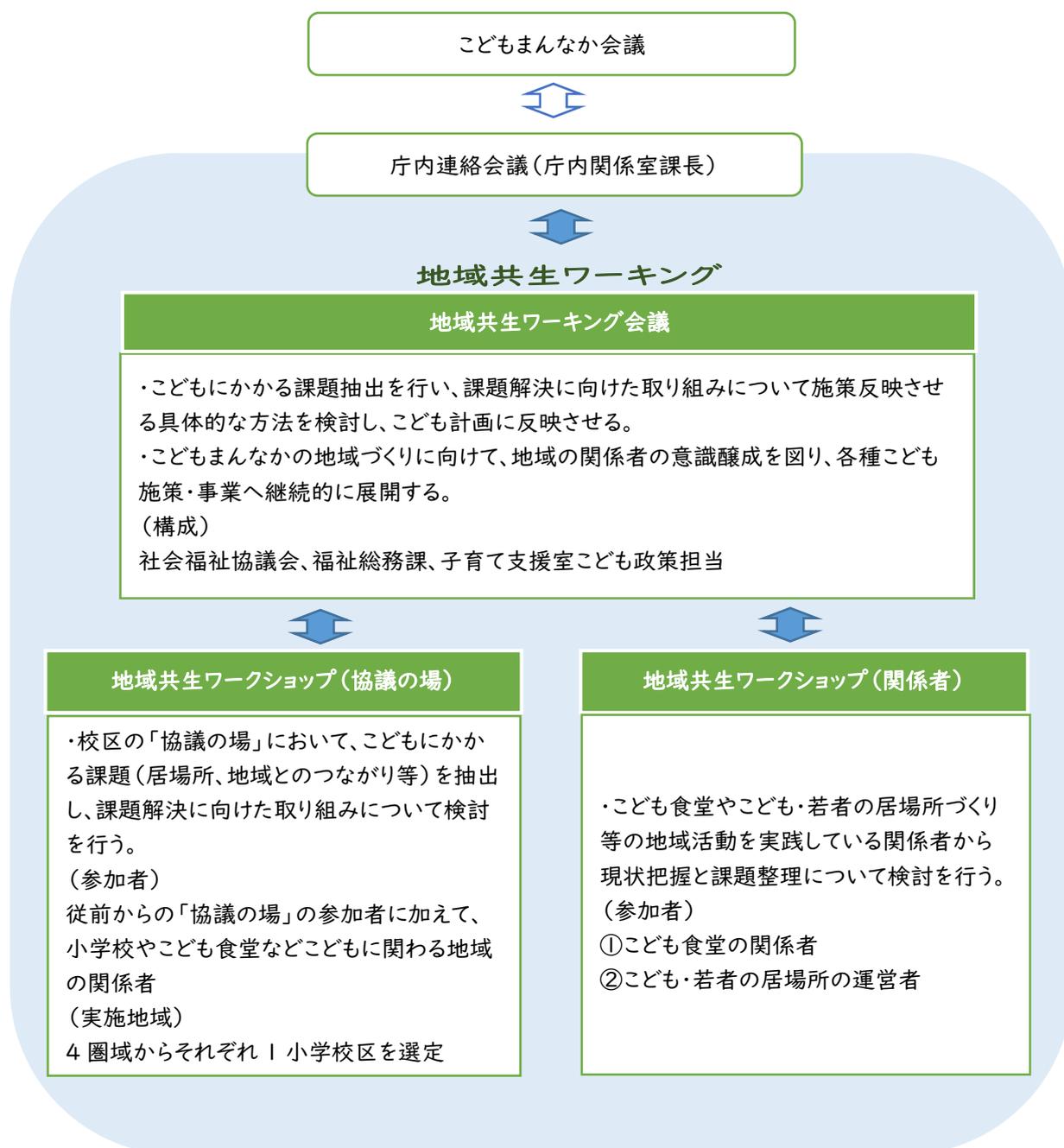
詳細については別紙参照

地域共生ワーキングについて

1. 目的

- ・こどもの最善の利益を第一に考えた「こども計画」の策定にあたり、地域の関係者からこどもにかかる課題抽出を行い、課題解決に向けた取り組みについて施策反映させる具体的な方法を検討する。
- ・こどもまんなかの地域づくりに向けて、地域の関係者の意識醸成を図り、各種こども施策・事業へ継続的に展開する。

2. 会議の体制



3.こどもの課題

- ・こどもの居場所、地域とのつながり、孤食など
(地域福祉活動計画の校区別アクションプラン 参照)

4.スケジュール

- R6.3.18 **第1回地域共生ワーキング会議**
・会議の概要説明(目的、内容、スケジュール、地域共生ワークショップなど)
- R6.5.1 **第2回地域共生ワーキング会議**
・校区社協の事前打ち合わせ
- R6.5.10 **校区社協代表者会議**
・こども計画の概要説明および地域共生ワーキングの依頼
- R6.5 末まで 地域共生ワークショップを実施する4小学校区を決定
- R6.6月 **第3回地域共生ワーキング会議**
・地域共生ワークショップの具体的な方法について
- R6.6月～8月 **地域共生ワークショップ(協議の場)の開催** 各小学校区×2回
- R6.6月～7月 **地域共生ワークショップ(関係者)の開催**
- R6.9月 **第4回地域共生ワーキング会議**
・地域共生ワークショップの実施結果の共有
・課題整理・方針検討→計画(施策・成果指標)への反映について
- R6.10～11月 **地域共生ワークショップ(協議の場)のフィードバック**
- R6.10～12月 **地域共生ワークショップ(関係者)のフィードバック**
- R6.12月 **第5回地域共生ワーキング会議**
・計画案の共有、今後の進め方